

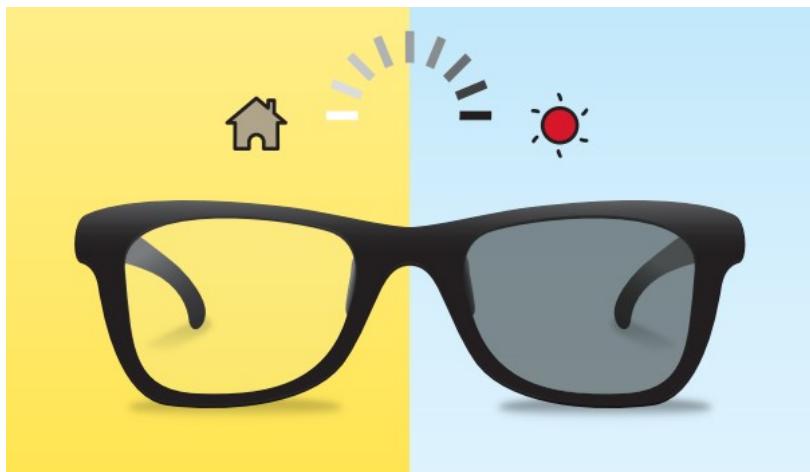
メガネ。ときどき、サングラス。  
～屋内ではメガネ、屋外ではサングラス。1本2役の2wayレンズ。～

## J!NS COLOR CONTROL LENS

ジンズ カラーコントロールレンズ

2013年4月11日(木)よりサービス開始

株式会社ジェイアイエヌ（東京本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：田中 仁）はこの度、紫外線の量と温度によって色が変わる（調光）レンズ「JINS COLOR CONTROL LENS（ジンズ カラーコントロール レンズ）」を、お好きなフレームに、フレーム表示価格+3,990円でカスタマイズできる新サービスを2013年4月11日（木）より開始いたします。



「JINS COLOR CONTROL LENS」は、室内ではクリアレンズでありながら、屋外では紫外線と温度に反応してカラーレンズに変化する、“1本で2役”的調光レンズです。JINSでは、日本国内ではまだ利用者の少ない、「1本のフレームで、普段使いのメガネとしても、度付き※のサングラスとしても使える」という調光レンズの利便性を、より多くの方々に実感していただけるよう、この「JINS COLOR CONTROL LENS」を、わずか+3,990円という価格でカスタマイズすることができるサービスを開始いたします。“眼を守る”をコンセプトに様々な製品を生み出してきたJINSが提案する“あたらしい、あたりまえ”。それが「JINS COLOR CONTROL LENS」です。

※度なしにも対応可能です。

### ■「JINS COLOR CONTROL LENS」の特徴

紫外線の量と温度によってレンズの色が変わる「JINS COLOR CONTROL LENS」。紫外線は濃度に関わらず常に99%カットしつつ、レンズのカラーは、環境に応じて濃度が変化することで、まぶしさを軽減することができます。



※イラストはイメージです。装用している環境（温度・紫外線量など）により異なる場合があります。

※紫外線量が同じであっても、気温が高い夏期は発色しづらく、気温が低い冬期は発色しやすくなります。

※レンズのカラー濃度にかかわらず、紫外線を99%以上カットします。

## ■メガネとサングラスの1本で2役

「JINS COLOR CONTROL LENS」では、すべてのメガネ用フレームからお好みのものを選ぶことができ、1本のフレームで「メガネ」と「サングラス」の二つの機能を担うことができます。

## ■いつでも紫外線を99%以上カット

「JINS COLOR CONTROL LENS」は、レンズのカラー濃度にかかわらず、常に紫外線を99%以上カットします。

## ■日差しのまぶしさから眼を守る

紫外線の量と温度によりレンズのカラー濃度が変化。常に紫外線を99%以上カットしながらも、環境に応じてまぶしさを軽減します。

## ■幅広いシーンで使用可能

アウトドアを楽しむ時、旅行中など掛け替えが面倒なシーンで便利な2wayレンズです。

## ■サービス概要

サービス名	JINS COLOR CONTROL LENS (ジンズ カラー コントロール レンズ)
内容	お好みのフレーム料金+3,990円で、紫外線の量と温度に合わせてレンズの色が変わる「ジンズ カラー コントロール レンズ」にカスタマイズすることができます。
価格	フレーム料金+3,990円(税込み) ※遠近両用レンズへの加工:フレーム料金+5,000円(税込み)
ご注文からお渡しまで	即日お渡し可 ※在庫状況により即日お渡しできない場合がございます。
サービス開始日	2013年4月11日(木)
レンズの仕様詳細	<ul style="list-style-type: none"><li>・国内大手レンズメーカー製</li><li>・レンズカラーはグレーのみ</li><li>・非球面レンズ(屈折率1.55)</li><li>・度付き、度なし対応可能</li></ul> <p>※JINS PCレンズへの加工はできません。</p>

## ■使用上の注意点

- ・傘や帽子で紫外線を遮ったり、紫外線カットガラスに覆われた車の中では、レンズの色は濃くなりません。
- ・濃いレンズが淡く戻るまで多少の時間を要します。車内に入つてすぐにトンネル・屋内駐車場などの暗い場所に入ることや、夕暮れ時に運転することは危険ですので、ご使用にならないでください。
- ・レンズのカラー濃度は紫外線や温度により変化します。強い紫外線を受けると発色が促進されますが、温度が高くなると発色が抑制されますので、夏季などでは紫外線量が多くてもあまり発色しない特徴があります。
- ・気温が高い時期にまぶしさを防ぐ場合は、別途サングラスのご使用をおすすめします。
- ・気温が低い冬季は、一般的に夏季よりもレンズの色が濃くなり、室内に入った後も透明に戻るまで時間がかかります。
- ・レンズは紫外線の影響等で徐々に経年劣化し、カラー濃度の低下や色調の変化が生じてきます。
- ・レンズ表面の傷などが劣化を促す場合がありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ・レンズに水滴などが付着すると、付着していない部分と温度が異なるため色が変わる場合がございます。
- ・拭き取ると色の差がなくなりますので、お早めに拭きとてください。
- ・レンズ凸面が傷ついたり、コートが剥離したりすると、機能が失われてしましますのでご注意ください。

## ■当リリースに関するお問い合わせ先

(株)ジェイアイエヌ PR担当 中島

TEL : 03-3479-4848、FAX : 03-3479-4849、pr@jin-co.com